

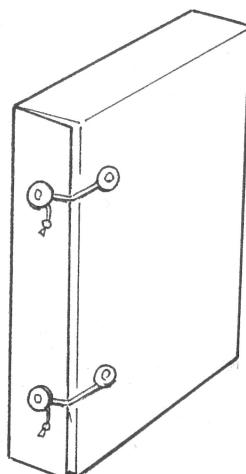
文書保存箱 修繕(修復・改良)作業について

旧タイプの文書保存箱の仕様は、側面にハトメ用の糸付きボタンがあって飛び出している為、箱を書棚から出し入れする際に引っ掛けてしまったり、ボタンがはずれて取れてしまっているものもあります。そこで、側面にボタンのないタイプへの改良をすすめています。

旧タイプの保存箱

ボタンが出っ張っていて
箱のフチ等に当たるため
書庫での出し入れが
スムーズにいかない

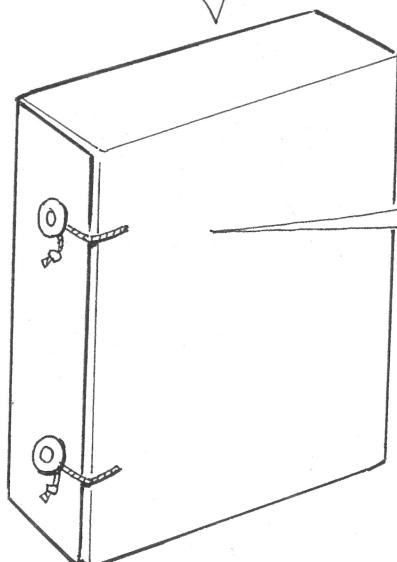
ハトメの糸が
ボタンでとめ
られています



改良型 保存箱の完成形

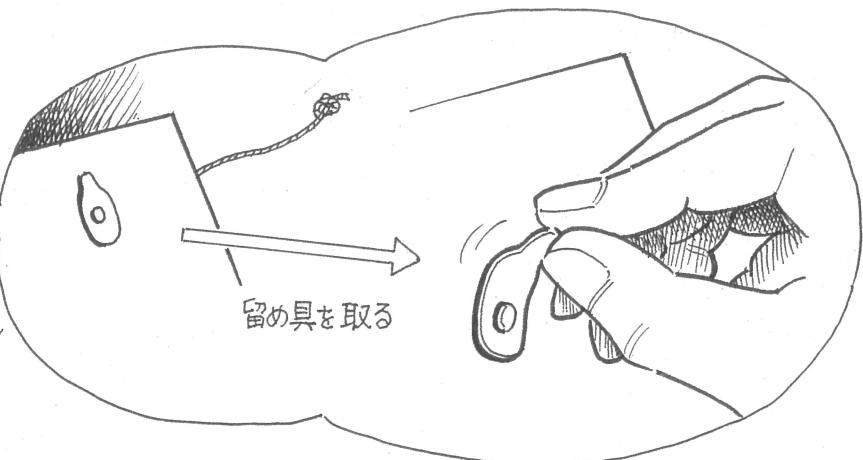
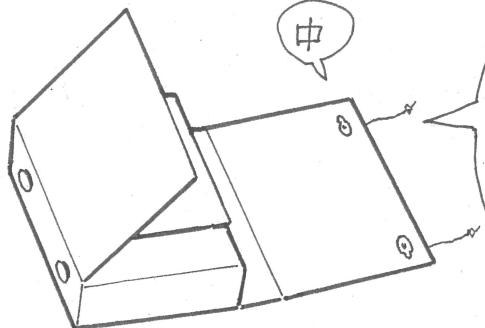
ボタンが
取れてしま
うるものも…

改良により
側面を
スッキリと
させます



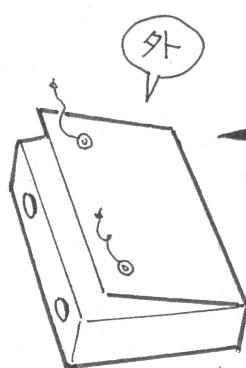
文書保存箱のハトメの改良

1.



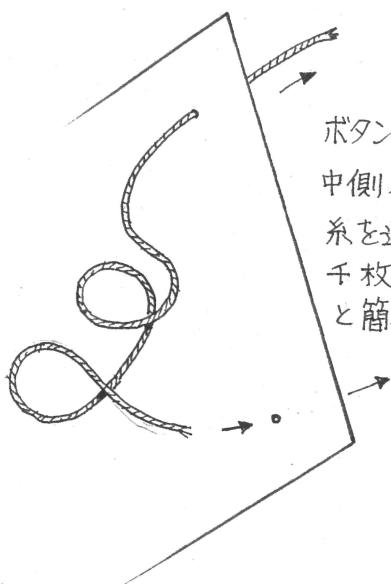
文書保存箱を開いて、留め具を取る。

2.

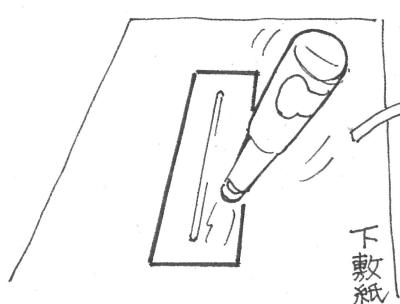
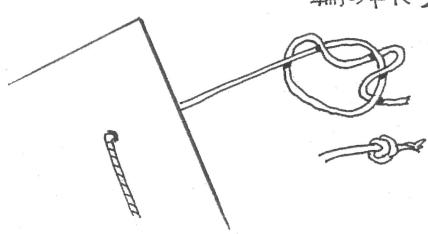
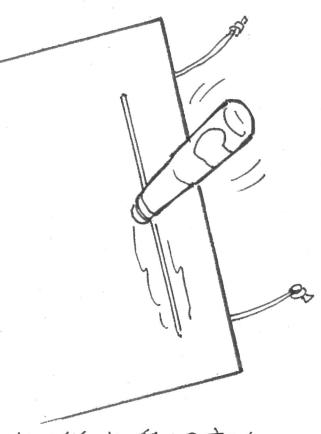
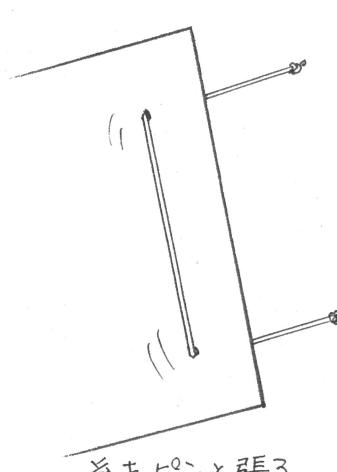


表に返して、糸付ボタンを取る。
力を入れて取るので、少しほつが大きくなってしまってもかまわない。

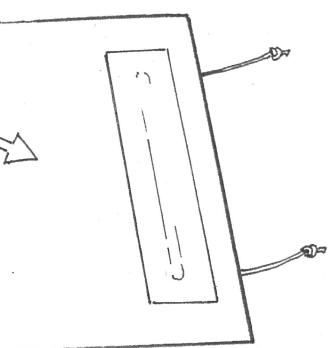
3.



4.



下敷紙



糸の上にかぶせて貼る。

史料保存収納ケース

行政文書書庫の現代資料の棚(E-2)
で保管しています。

